

開催結果報告書

令和 3 年 7 月 30 日

滝川市教育委員会教育長 様

江陵中学校区学校運営協議会

会長 佐藤 安憲

学校運営協議会の開催結果について、本書のとおり報告いたします。

会 議 名	第 2 回 江陵中学校区学校運営協議会	
開 催 日 時	令和 3 年 7 月 15 日(木)	
開 催 場 所	滝川市立江陵中学校 会議室	
出席委員氏名	別紙参照	
事務局出席者 職 ・ 氏 名	別紙参照	
	会 議 議 題	協 議 結 果
	<報告> (1) 第 1 回学校運営協議会(書面) (2) 事務局会議 (3) 第 2 回学校運営協議会	資料の通りで、意見なし
	<協議> (1) 今年度の事業について ①今後の活動について ②部会について (2) 統合に関して	(1) ①、②について事務局が説明した。 (2) 全体で話し合いを行った。
	<部会協議> (1) 教育支援部会 (2) 小中連携部会 (3) 評価運営部会 ※部会協議終了後、部会ごとに解散。	<教育支援部会概要> 1.目的 (1)学校の教育活動への地域人材等の積極的な参画の促進に関する活動を行う。 (2)地域における行事の推進や、児童生徒の健全な育成及び安全指導に関する活動、学校の教育環境に関する活動を行う。 2.活動内容

	<p>(1)人材バンクの整備(コーディネーター) (2)職場体験学習への協力(学校) (3)登下校の見守り運動(保護者、地域、学校) (4)校区一斉交通安全街頭指導「740 運動」の実施→別紙参照 (5)地域の安全・安心づくり(学校・部会)</p> <p><小中連携部会概要></p> <p>1. 協議事項</p> <p>(1)事業計画の検討について ・部会が主体になっているものと、協力している程度 のものが混在しているので整理する。</p> <p>(2)家庭学習週間の取り組みの交流 ・「みんなで勉強する」という期間を大事にする。 家庭と協力して「目標を立てて振り返る」という取 組みにしていく。</p> <p>・「まなびのさかみち」にある「学習時間の目安」につ いて 3 校で共通指導したい。ただし時間だけでなく 内容や方法を重視し、指導にあたる。</p> <p>(3)江陵中は冬休みに学習ボランティアを予定。</p> <p>(4)中 1 ギャップ解消の取り組み ・子ども理解支援ツール「ほっと」の取り組み。 ・学習規律の共通指導の為各校交流。</p> <p>(5)総合的な学習の時間の発表を交流したい。 ・各校の指導計画を交流し、活動の重複を防ぐ。 ・総合の指導計画を交流する。 ・ICTスキルの指導計画を小学校間で揃える。 ・学力調査の結果が出次第、交流のため日程調 整をする。</p> <p><評価運営部会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・CSマニュアルの学校評価について確認。 ・12月に保護者・生徒・教職員アンケートがあり、 それを受けて2月に学校評価を行う。 ・今年度も、昨年同様学校訪問が困難な状況で ある。実際に学校の様子を参観できないまま、全 項目の評価を実施することになるが、CSの部会 等で情報を共有し、実施していく。
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、第3回以降の全体会議について、オンライン会議等の対策を検討していく。 意見や要望として次の事項があった。 ・江部乙小学校が江部乙CSを単独で設置するのか、江陵CSと統合するのか、意向を事務局及び市教 	

委で把握してほしい。

- ・小中連携の観点や 2 校で 1 校区という規則から、江部乙小学校が単独を希望した場合も想定した上で市教委には方針を固めてほしい。
- ・江陵 CS から、江部乙小学校に対し、「統合しましょう」というのは越権行為にあたる。市教委および江部乙小学校には、遅くとも令和 4 年 2 月までにはご決断いただきたい。
- ・新型コロナウイルス感染防止に最も効果的なのは、学校関係者以外が校舎に入らないことである。子どもたちの教育環境を整備することが役割でもある学校運営協議会だからこそ、尚更その点を重視し、少人数会議やオンライン会議などを検討すべきと思う。

※会議資料は、必ず添付して下さい。